

エリマネ ニュース

第3号

ドリームハイツ地域運営協議会

発行日：21年5月30日

発行者：ドリームハイツ

地域運営協議会

連絡先：045-307-3558

発行責任者：泉 一弘

スタートは皆さんの住民アンケートです

ドリームハイツ地域運営協議会での取り組みは、全て平成20年1月に実施し、3月に発表された住民アンケートがもとになっています。

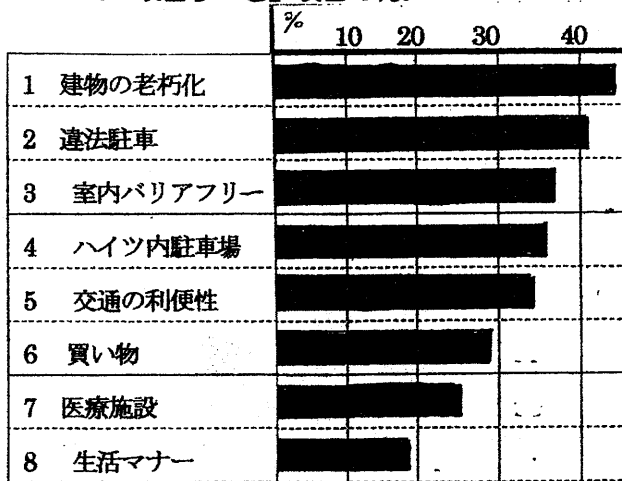
下記アンケートのとおり、見守りは「住民が安心して過ごすために必要な取り組み」のトップになっています。現在、市・県自治会や福祉団体のほか、民生委員や県ハイツ防災隊も加わって、困った時やいざという時に連絡をし、対処してもらえるような「センター」の設置を検討しています。まずは電話をうけられるような仕組みを考えています。



—ある日の見守りネット部会—

住民同士が互いに気遣ったり、見守ったりできる温かい地域を作るために、皆さんのご協力をお願いします。

<「改善すべき」項目の%>

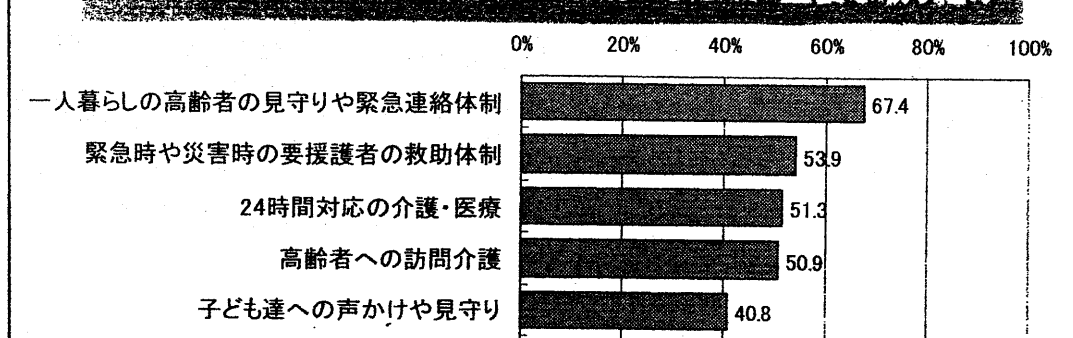


アンケートの数値の結果と自由記入の意見をまとめて整理し、テーマごとの小部会を作って動き出しました。

まず要望の高かった交通問題に取り組む小部会ができ、バス運行について検討が始まりました。

住民同士の交流・コミュニティについても話し合い、階段やフロア毎のつながりやサークル、行事などが話題となっております。今後、バリアフリーや安全など、高齢者も若い人も視野に入れて進めていきます。それらをテーマ毎にまとめ改善案などを、住民の皆さまに提案・提言していきます。一緒に考えてください。

2-7 日常生活における不安感を解消するために重要な取り組み



地域運営協議会 20 年度報告

(単位：円)

I、決算報告

収 入		支 出	
横浜市よりの助成金	750,000	パワーポイント資料作成費	128,486
県ハイツ自治会よりの助成金	100,000	リーフレット「わたしたちのまち」作成費	210,645
市ハイツ自治会よりの助成金	60,000	エリマネニュース印刷費及び広報活動費	121,959
寄付金他	5,275	協議会会議費	238,616
		その他の活動費	215,569
合計	915,275	合計	915,275

II、事業報告

1、住民・見学者等向け広報活動

① 地域紹介パワーポイント資料作成

② リーフレット「わたしたちのまち」作成

③ エリマネニュース発行 ②③は全戸配布いたしました。

2、定期協議会を月 1 回開催。アンケート結果に基づき部会を立ち上げ。部会は必要に応じて開催。

① 福祉部会 ⇒ 各団体の研修、講座の計画を調整しハイツ全体で協働開催とした。

② 見守りネット部会 ⇒ 協議会メンバー他、民生委員、県防災隊も加わり発足。各団体の「見守り活動」紹介と他地域との見学交流。ハイツ及び周辺の独居家庭、高齢者 2 人家庭の生活を支える基盤づくりに取り組む。

③ ビジョン部会 ⇒ アンケートの結果の整理・分析して、ドリームハイツの将来を描く。老いも若き住み続けられるまちを目指す。



〔ある日の地域運営協議会風景〕

☆ ふれあいドリーム

介護保険について2

☆ 介護保険による介護サービスは、1 居宅サービス 2 施設サービス 3 地域密着型サービスがあります。利用者の介護度と心身の状態に応じて、希望するサービスをケアマネージャーが検討しプランを立てます。また、関係機関との連絡調整も行います。

1、居宅サービス



○訪問サービス

介護保険におけるサービス	サービスの概要 (要介護 1～5)	予防給付 (要支援 1～2)
訪問介護	ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護や、調理、洗濯などの生活援助を行う。	介護予防訪問介護
訪問入浴	介護士と看護師が居宅を訪問し、浴槽を提供しての入浴介護を行う。	介護予防訪問入浴
訪問看護	疾病等を抱えている方に対して、看護師が居宅を訪問して療養上の世話や診療の補助を行う。	介護予防訪問看護
訪問リハビリテーション	居宅での生活行為を向上させるために、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が訪問によるリハビリテーションを行う。	介護予防訪問リハビリテーション

※その他、居宅療養管理指導も受けられる。



○通所サービス

通所介護〔デイサービス〕	通所介護施設で、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行う。	介護予防通所介護
通所リハビリテーション〔デイケア〕	老人保健施設や医療機関等で、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のためのリハビリテーションを日帰りで行う	介護予防リハビリテーション



○短期入所サービス

短期入所〔ショートステイ〕	福祉施設や医療施設に短期入所して、日常生活上の支援や機能訓練などを行う〔生活介護・療養介護〕	介護予防生活・療養短期入所
---------------	--	---------------

※ その他、福祉用具貸与・販売、有料老人ホームの入居高齢者の支援も行うことができる。

施設サービス・地域密着型サービスは次号

ドリーム文庫より

新刊紹介

- 遠い花火(辻井 喬)
- 英雄の書 上・下(宮部 みゆき)
- 告白(湊 かなえ)
- プリンセス トヨトミ(万城目 学)
- ローマ亡き後の地中海世界 上・下(塩野 七生)
- ミッシェル オバマ(エリザベス ライトフット 浅尾 敦則訳)
- この世には二種類の間がある(中野 翠)
- やんごとなき読者(アランベネット 市川 恵里訳)
- 砂 冥宮(内田 康夫)



貸し出し場所 県ハイツ第一集会所
 貸出日 (水) 14:30~16:30
 (日) 10:30~12:00

講演会の予告

「終末期の準備～もしもの時に備えて～」

日時 7月4日(土) 10時~12時

場所 ふらっとステーション

講師 五條 重幸 氏

主催: ふらっとステーション情報チーム

-今年度の講座の予定-

- 食中毒の予防(地域給食の会)
- 認知症予防(福祉部会)
- 交通安全(夢みん)
- 介護予防の講座(夢みん
戸塚区役所からの委託事業)
詳しくは順次お知らせします。

『ボランティアバンク・えん』・・・どなたでもご利用ください

19年度実施された住民アンケートでは「日々の暮らしの中で不便を感じたときに、地域で気軽に頼める人や場所がほしい」という回答が多数あげられました。そこで「地域の人たちが助け合い、支えあえる仕組み」として昨年6月『ボランティアバンク・えん』が発足しました。約10ヶ月の間に下記のように、多くの方々から依頼や協力をいただきました。利用された方々からは「助かりました。安心して暮らせる」などの声が寄せられています。

20年度の実績

協力登録者 47名、依頼件数約 110件 時間数約 250時間(3月末現在)
 依頼内容: 家事・簡単な大工仕事・日常のゴミ出し・粗大ゴミ出し・電球の取替え
 家具の移動・子供の預かり・付き添い等

★地域で助け合うために、ご協力くださる方、ぜひ登録をお願いいたします。

★何か困ったときは、どうぞお気軽にお電話下さい。

コーディネーターが依頼者と協力者をつなぎます。

ボランティアバンク・えん 電話番号 080-5866-2010

食事で元気に！！



昨年ドリームハイツで行われた、慶応義塾大学院の土井原奈津江氏が高齢の方を対象に行った調査によれば、食事の満足度のうちで「食事が楽しい」と答えた方は三分の二でした。食事作りは年齢が上がるにつれて大変になり、「食べなきゃいけないから毎日作るが食欲がない」「夫の介護をしながらの食事作りは楽しいとか美味しいとかではなく、ただ大変なだけ」など、食事作りに苦労されている現実が見えてきます。中には「ヘルパーさんが来ない日は食事を抜いている」という回答には言葉をなくしました。 参考資料：「高齢者の地域居住のための食を通した支援のあり方」より

食べる楽しみを持つことは、「心の安定」や「生活のはり」を高め、健康な生活を送る基本といっても過言ではありません。幸い、ハイツには食事サービスを行っている団体が3箇所あります。いずれも季節の食材を取り入れた美味しい食事をお安く提供しています。時々でも外に出てお喋りをしながらのお食事や、ボランティアがお届けするお弁当を利用されるのも、気分が明るくなり、生活にもリズムやアクセントがついて良いのではないのでしょうか。

お待ちしております！！

いこいの家 夢みん

- ▶木曜日昼食(予約なし) 400円
 コーヒー・お菓子各150円
- ▶ドリームハイツ 11号 104号室
- ▶対象：50歳以上の方

旬の素材と野菜をたくさん使い、高齢な方も食べやすいよう工夫した献立をお出ししています。家庭的な雰囲気の中で、栄養豊かな食事をお楽しみください。食後、ご希望の方は看護師さんの健康相談が受けられます。

連絡先 TEL 852-0480

ふらっとステーション・ドリーム

- ▶日替わりランチ 火～土曜日
 400円(飲み物付き500円)
- ▶年齢は問わず、どなたでもどうぞ

季節の野菜をたっぷり使った、日替わりでちょっとおしゃれなアイデア料理が喜ばれています。

ご家族や友人、お仲間との会食にもどうぞ。人数が多い場合は、ご予約いただけると助かります。

連絡先 TEL 307-3558

ドリーム地域給食の会(自宅へお弁当をお届けする配食サービスです)

- ▶火曜日か木曜日のいずれか 昼食 500円(デザート・汁付き)
- ▶日曜日は買い物などが困難な方 夕食 400円
- ▶対象：原則として75歳以上の方、病身の方、その他食事作りが不自由な方

「蓋を開けるのが楽しみです」と言われ続けて20年。愛情たっぷり、彩り豊かなお弁当です。

連絡先 TEL 吉田852-4494 洲上852-5138

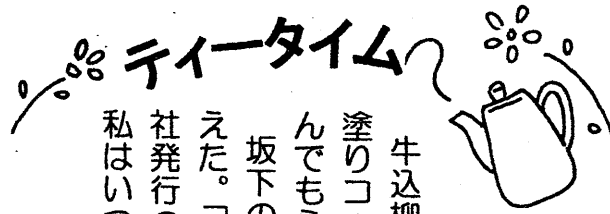
気軽に相談に来てください

月曜日 2時～3時

ふらっとステーション・ドリームでは、毎月それぞれの専門家が「相談」を行っています。

どうぞ、気軽にお立ち寄りください。

- 第1月曜 障がいについての相談
飯田宏二さん
(緑園なえば保育園)
- 第2月曜 介護保険などについての相談
島津禮子さん
(ふれあいドリーム)
- 第3月曜 血圧測定と健康相談
北村看護師(夢みん)
- 第4月曜 戸塚区の小館保健師が来て
くださっていました。今年
度については調整中です。



コッペパン

牛込柳町の電停前にパン屋があり、昼の弁当は10円のジャム塗りコッペパン一個と決めていた。たまに5円のクロックを挟んでもらった。

坂下の牛込柳町から坂を上ると、畑のむこうに会社の屋根が見えた。「エレクトロニクスの月刊技術誌は、日本広しといえど当社発行の本誌だけなのだ」が社長の口癖。そうかもしれないが私はいつも空腹が先で、ほかはどうでもよかった。

(水)

エリマネニュースは、地域全戸に配布する活動団体の広報紙を、一つにまとめて発行するものです。エリマネとはエリアマネジメントの略で、「地域住民が主体となって地域を運営する」という意味です。

横浜市が平成19年度より始めた「地域元気プロジェクト」の一環で、ドリームハイツは、そのモデルの一つに選ばれました。

現在、市・県ハイツ自治会、地域給食の会、いこいの家夢みん、ふれあいドリーム、ふらっとステーション・ドリーム、ドリームの丘、地域のつどいの8団体と、区役所、市役所が参加して地域の課題に取り組んでいます。ご意見や原稿をお寄せ下さい。

担当 307-3558 ふらっとステーション・ドリーム内

編集委員

松本・吉田

田中・伊藤・島津